

ライス大学 ナノジャンプログラム

ライス大学教授 電気・コンピュータ学科、物理・天文学科

河野 淳一郎

ナノテクノロジーとは、物質をナノメートル(十億分の一メートル)のサイズの領域、すなわち原子や分子のスケールにおいて、自在に制御する技術です。そのような小さな空間に閉じ込められた電子は、微視的世界を支配する量子力学の原理に従って振舞い、マクロな世界ではあり得ないユニークな現象を示します。そのような現象の根本的な理解と操作、そしてそれをうまく使った応用がナノテク研究のゴールです。物理学、化学、電気工学、化学工学、物質科学、生物工学等の従来の専門領域枠を超えて多分野の研究者が協力し合い、世界的なスケールで日進月歩を続ける非常にダイナミックな最先端研究分野の一つです。

1985年のライス大学カーン教授とスモーリー教授によるC60フラーレン分子の発見はナノテクノロジーの発祥点と見なされており、1996年に彼らはノーベル化学賞を受賞しました。世界に先駆けて1993年に設立されたナノサイエンス研究センターは世界中から一流研究者を集め、それ以後ライス大学は常に世界のナノテク研究の中心的役割を果たしています。特にナノサイエンスを代表する炭素系ナノ構造に関しては画期的な研究が行われており、実際に応用できる段階まで研究が進んでいます。例えば、ユニークな一次元物質であるカーボンナノチューブは銅よりも大きな電気を流し、ダイヤモンドよりも速く熱を伝え、現存するどんな物質よりも強靱です。また、分子構造を少し変えるだけで絶縁体になったり金属になったりもします。マイクロエレクトロニクスにおいて将来シリコンがナノチューブに置き換わられ、世界中の送電線が銅からナノチューブに変わる可能性もあります。そして、カーボンナノチューブで作られた宇宙エレベータを使って月旅行ができる日が来るかもしれません。

ライス大学では、ナノテクノロジーのもう一つの大国である日本と様々な形で共同研究や国際教育を行っています。その中でも、アメリカ国立科学財団(National Science Foundation)にサポートされている我々の「ナノジャンプログラム(<http://nanojapan.rice.edu>)」では、過去5年間、日本での夏の研究インターンシップを通して米国理系学部大学生の国際教育を推進してきました。毎夏16人の学部一・二年生を日本に派遣し、ナノサイエンスの研究に3ヶ月間参加してもらっています。研究室は北大、東北大、東工大、千葉大、慶応大、信州大、京大、阪大、大阪工大、理研、物材研、等日本全国を網羅し、学生達はそれぞれの場所でナノ物質



写真1 (撮影: 原 万里子さん)

の合成、ナノデバイスの作製と評価、特殊な環境下での物理測定等に従事します。このように若い理系学部生が最先端の研究に参加できるプログラムは大変珍しいということ、さらに異国文化での生活を体験することができるユニークなプログラムであるということを認められ、2008年には Institute of International Education から Heiskell Award for Best Practice in International Education という賞も頂きました。サイエンスの国際化が急速に進む一方、米国学生の理系離れも深刻化し、科学技術の中心が米国から東洋へと移ってしまうのではないかとのおそれもあります。このような状況の下、ナノジャンプログラムは一人でも多くのアメリカ人学生にサイエンスの面白さを伝え、また国際協力の重要性を強調しております。

さて、今年は日本での震災の影響を受けて、ナノジャパンは急遽場所を変更してライス大学で開催することになりました。米大学に在籍する約150人の応募者の中から選ばれた14人のアメリカ人学生に加え、約25人の日本人学生をライス大学で受け入れました(写真1参照)。日本人の学生達のほとんどは大学院生ですが、少数の学部生とポスドクも参加しました。震災で一番大きな影響を受けた東北大も含め、今まで5年間ナノジャパンホストとして関わって頂いた先述の様々な日本の大学のナノ研究室から参加してくれた優秀でエネルギーあふれる若手研究者達です。日米総勢約40名の若者達は寮生活で寝起きを共にし、切磋琢磨しながら研究に励み、固い友人関係を築きました。また、アメリカ人学生に対しては様々な特別講演、クラス、ワークショップを通して日本語と日本の文化・政治・経済について紹介し、書道、お弁当、日本舞踊、太鼓などヒューストンにいながら日本の文化的側面にも触れてもらいました(写真2)。ヒューストン日本人会会長のアイデアで、オリジナル流しソーメン装置を日米学生合同で完成し、総領事公邸でのパーティで約80人の日本人会の皆さんに楽しんで頂くこともできました(写真3)。

日米の科学技術の将来を背負う若きサイエンティスト達がここヒューストンで出会いひと夏過ごしたことは、非常に有意義で貴重な体験となったと思います。来年以降はまた通常通り日本に場所を戻してナノジャンプログラムを開催しますが、できればまた同じような若手日米交流の機会をヒューストンで多く作って行きたいと考えております。最後に、今回様々な形でナノジャパンに協力して頂いた渡部総領事代理と領事館の方々、日本人会の武智会長、原さん、山本さん、Showing Japanの皆様、カミナリ太鼓のメンバーの方々、Kuraray America, Inc. 様、この場を借りて感謝致します。ナノジャンプログラムについてご質問等ありましたら、ぜひ私(kono@rice.edu)またはMs. Sarah Phillips (sphillips@rice.edu)の方までご一報下さい。

<http://nanojapan.rice.edu>

<http://www.facebook.com/NanoJapan>

<http://www.ece.rice.edu/~kono/>



写真2 (撮影: Andres Novoaさん)



写真3 (撮影: 筆者)

| | | | | | | | | | |
|----|---------------|-----|---|----------------------------|-----|---|---------------------|-----|----|
| 目次 | ◆ナノジャンプログラム | ... | 1 | ◆連載: 駐妻ヒューストン日記 | ... | 5 | ◆連載: ワン! ダブル ヒューストン | ... | 10 |
| | ◆商工会常任委員会議事録 | ... | 2 | ◆Houston Ballet | ... | 6 | ◆連載: 食うずとん | ... | 11 |
| | ◆会社紹介 JTB USA | ... | 3 | ◆連載: Travel in the U.S.A.! | ... | 6 | ◆連載: 知っとん物語 | ... | 11 |
| | ◆ビジネス講演会 | ... | 4 | ◆エコ先進国日本からのメッセージ | ... | 7 | ◆Houston Walker | ... | 12 |
| | ◆ピーカンキッズ活動報告 | ... | 5 | ◆連載: テキサス・メディカルセンター最前線 | ... | 9 | ◆編集後記 | ... | 12 |

平成23(2011)年8月度 商工会常任委員会 議事録

日 時: 平成23年8月24日(水)11:30～13:15
場 所: Four Seasons Hotel Room: Highland(2階)
出席者: 名誉会員、常任委員、婦人部委員長、事務局長
司 会: 竹田直樹幹事

1. 商工会会長連絡事項(上野真吾会長)

日本では、震災後の原発事故を含めまだまだ落ち着かない状況で経済や政治が混迷を極める一方、諸外国でも米国の米国債値上げとそれに伴う株安、ロンドンでの暴動発生、リビア情勢などグローバルにも目が離せない難しい状況が続いている。そうした中でも、商工会は着実に活動を続けている。美術館のJapan Galleryへの15万ドルの寄付、東日本大震災被災地への10万ドルを超える義援金募金、JAXAの協力による宇宙セミナー開催のほか、ソフトボールやピクニックなど親睦行事の準備も進められている。当地に住む日本人コミュニティーが日本へ元気を発信し続けられるような商工会にするため、今後も会員各位の協力をお願いしたい。また、本格的なハリケーンシーズンを迎え、会員やその家族の安全管理に向け更に充実した体制を築いていきたい。

2. 総領事館連絡事項(渡部隆彦総領事代理)

渡部総領事代理より下記の点について連絡があった。

- ①商工会会員各位による種々活動への協力に対する謝意。
- ②新総領事の10月初旬の赴任予定についての連絡。
- ③緊急災害時の総領事館オフィス移転の検討について
近年世界中で自然災害が多発する中、改めて緊急時の備えを見直すよう外務本省から指示されており、ハリケーン等の影響で総領事館事務所が入居ビルから一時的に退去する事態となっても、公邸又は別の場所へ移動して業務を継続できるよう現在マニュアルの見直しを行っている。今後、当地での緊急事態対応がより整ったものとなるよう商工会とも良く連携していきたい。

3. 商工会次期役員選出について(竹田直樹幹事)

商工会定款第四条第二項「役員」(b)に基づき、次期役員選出を進めるにあたり、まず竹田幹事より有権者数等の報告があった(有権者の正団体会員数85に対し、出席有権者数28、欠席正団体会員による会長委任数37、無効数20)。次に、最終立候補者8名の起立紹介があり(下記参照)、そのうち定員を満たした会長、第一副会長、副会長、幹事の立候補者について信任・不信任を、定員1名のところ2名の立候補があった会計幹事については記名投票を行う旨の説明があった。出席有権者の投票用紙を回収の上、ライブロック事務局長が別室で集計し、竹田幹事の再確認の後、会長以下幹事の立候補者全員の信任、そして会計幹事については60票対5票で加藤氏の当選決定が発表された。

* 立候補者

会長(定員1名) 上野真吾氏(Sumitomo Corp. of America)
第一副会長(定員1名) 岡野夏井氏(Mitsui & Co.(USA), Inc.)
副会長(定員3名)
阿部憲一氏(Kuraray America Inc.)
土光辰夫氏(Toshiba International Corp.)
永井博史氏(Mitsubishi Caterpillar Forklift America Inc.)
幹事(定員1名) 竹田直樹氏(Mizuho Corporate Bank, Ltd.)
会計幹事(定員1名) 加藤信之氏(Deloitte & Touche LLP)
庄賀典子氏(Ernst & Young LLP)

※会計幹事以外は、立候補者数が定員のため信任投票とします。

※副会長・会計幹事立候補者は受付順に記載しています。

4. 副会長・会計幹事欠員の補完について(竹田直樹幹事)

<提案> 常任委員交代により副会長と会計幹事欠員が生じたた

め、7月度理事委員会において副会長に岡野夏井氏、会計幹事に加藤信之氏が推薦され、全会一致で信任承認を得た。定款第四条第三項「役員」の欠員に定められるとおり「理事委員会投票の過半数による承認後、次の常任委員会で過半数の承認による追認される」べく、本日の常任委員会で過半数の承認を得たうえで正式承認としたい。

<結論> 常任委員会の過半数の承認を得て正式に新副会長と新会計幹事の欠員補完となった。

* 副会長 (旧)川瀬裕司氏 (Mitsui & Co.(USA), Inc.)
(新)岡野夏井氏 (Mitsui & Co.(USA), Inc.)

* 会計幹事 (旧)室井秀夫氏 (Deloitte & Touche LLP)
(新)加藤信之氏 (Deloitte & Touche LLP)

5. ヒューストン美術館ジャパン・ギャラリーへの寄付の現状報告について

(渡辺龍二副会長)

美術館へは4月の常任委員会にてご報告の通り、新井ファンドを中心に合計15万ドルの寄付を実行した。美術館館長より、商工会に対して謝意表明があった。現在寄付金は全部で71万ドルが集まっている。目標は100万ドルなので、寄付にご興味のある方がいらっしゃれば連絡をお願いする。ジャパン・ギャラリーのオープンは来年2月を予定。東京の国立美術館からの逸品の借用も検討中にて、詳細が判り次第改めてご案内する。

6. Space Seminar 2011報告(山上武尊正会員・三宅正純副会長代理)

①第6回宇宙セミナー「ここがスゴイぞ! 日本の宇宙技術力」開催

今年度最後となる宇宙セミナーを9月11日(日)にSpace Center Houstonで開催。午前10時から国際宇宙ステーション管制室や宇宙飛行士訓練施設の見学の後、12時から昼食休憩をとり、13時よりJAXAヒューストン駐在員事務所所長代理の水野浩靖氏による講演会「日本の無人宇宙船HTV—どんな技術をもっているのか」を、またHTVの技術や宇宙食、宇宙船内被服などを展示するブース見学を予定。定員80名。詳細については商工会事務局より開催案内をイメールで発信予定。

②今年度開催宇宙セミナー実績

これまで日本語による国際宇宙ステーションや宇宙開発の説明、親子水ロケット教室、星出宇宙飛行士講演会などを開催し、第6回セミナーも含めると参加人数が500名弱に達する。関係各位のご協力により、同セミナーが好評を得て成功裏に終了。9月11日が今年度最後の宇宙セミナーとなるが、来年度も同セミナーの開催継続、参加者対象範囲の拡張、他都市での開催なども視野に入れながら今後検討していく。

7. 委員会・部会報告

①企画・調査委員会(木村誠企画調査委員長)

* 商工会主催「災害・非常時のビジネス・コンティニューイティ」セミナー

講師: Mr. Bruce B. Daly (Principal, Enterprise Risk Services, Deloitte & Touche LLP)

皆野川裕徳氏 (Manager, Enterprise Risk Services, Deloitte & Touche LLP)

正田平八郎氏 (ヒューマンキャピタルサービス日本企業部リーダー, Senior Manager, Deloitte Consulting LP)

日時: 2011年8月24日(水)13:30分～15:00(質疑応答も含む)

場所: Four Seasons Hotel - Room Highland(2階)

* ジェトロヒューストン主催「ブラジル・中南米市場セミナー」開催

講師: 紀井寿雄氏(ジェトロ・サンパウロ事務所 調査担当ディレクター)
荒木拓也氏(三菱東京UFJ銀行ボゴタ・リマ・カラカス駐在員事務所所長)

日時: 2011年8月31日(水)13:30～16:00

場所: ジェトロ・ヒューストン事務所会議室 (One Houston Center 41階)

* 「北米インフラプロジェクトの現状とファイナンス」合同セミナー開催

協力: 三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、国際協力銀行

日時:2011年9月19日(月)14:00~17:00

場所:未定

②文化委員会(親月秀文文化委員長)

親月文化委員長より2011年商工会・日本人会共催ピクニックに関し下記の連絡があった。

*開催日時は2011年9月25日(日)9:00~16:00、場所はThe Gordon Ranch

*会場側が閉鎖などを判断しない限り、雨天でも原則ピクニックは開催する。

*ピクニック幹事会社による準備(業務分担、寄付依頼作業)状況の説明と会員企業への寄付依頼

*ラッフル前売り券についての説明と購入のお願い、ボランティアの募集について

上記の詳細については、改めて事務局から別途連絡予定。

③スポーツ委員会

(鈴木一正会員:阿部憲一スポーツ委員長代理)

* テキサス会ゴルフ関連

テキサス会「商工会会長杯」開催に向け、エネルギー部会が11月20日(日)または12月4日(日)のいずれかの日程で検討中。詳細が決まり次第連絡の予定。

* ソフトボール大会関連

9月5日(日)にHouston Sportsplex において予選開催(雨天の場合は18日へ順延)、9月25日(日)にピクニック会場で準決勝・決勝戦開催予定。8月10日に行われたキャプテン会議で、新たにWild Card戦を実施し9月25日の試合数を6試合に増やす提案があったが、もともと親睦目的の行事であることやピクニック行事への影響を鑑み、今年度は従来通り4試合のみとすることになった。

④安全危機管理委員会

(ライブロック祐子事務局長:市来肇特命理事代理)

Zip Codeで分けられた7つのブロックを対象に、2011年緊急連絡網テストランが6月24日(金)午前10時から実施された。今回は所要時間が1時間49分(昨年度は1時間10分)で、特に問題なくスムーズに終了。同委員会担当の市来特命理事より事務局長を通じて、ブロック幹事と小ブロックリーダー、そして各担当者各位の協力に対する謝意が表された。

⑤婦人部委員会(三宅栄里子婦人部委員長)

* 古本市開催について

今年2月に補習校校舎で開催された古本市に続き、第2回古本市が9月10日(土)に三水会センターのビル東側ホールで開催予定。前回の古本市の収益金800ドルを三水会センター図書館に寄付し、児童書41冊を購入。今回の収益金も前回同様と同図書館へ寄付の上、大人向きの図書購入の予定。

8. 事務局連絡事項(ライブロック祐子事務局長)

①棚卸終了報告

今年で2回目の三水会センター図書館の棚卸作業が、ボランティア約35名の協力を得て7月19日から30日まで実施された。棚卸作業は主に蔵書数の確認と整理を目的とし、作業終了時の棚卸図書数が25,577冊、終了時に貸出中だった図書が61冊で、蔵書総数が25,638冊であることを確認。

②会員消息 (詳細は折込別紙参照)

③正会員企業入会申請 <9月度理事委員会承認事項>

申請社名: Tenryu America Inc.

代表者名: 水野次郎様

登録希望会員数: 1名

登録希望部会: 鉄鋼部会

④新年度年間会議・行事予定表 (別紙)

会社紹介

JTB USA, Inc.

石井 光(いしい あきら)

1. 会社の業務内容

JTB USAは、日本のJTB同様の総合旅行社として、北米23拠点で航空券・ホテル・レンタカー、JRパス、各種パッケージ旅行などの旅行商品を販売しております。特に日系企業の皆様のご出張手配や個人旅行、アメリカの学校の日本行き団体旅行、会議や周年行事のお手伝いなどに力を入れております。ヒューストン支店でも、ご出張の手配はもちろん、LOOKアメリカンツアーの販売、各国のVISAの代理申請、バスやリムジンの手配、ガイドや通訳の手配、会議やイベントのお手伝いなど、皆様からの様々なご要望にお応え致します。



2. ヒューストン/テキサス州の印象

まずヒューストンは意外に都会で、メキシコの人だけでなく多種多様な人がいることが驚きでした。また、想像を絶する車社会だという印象です。車がないとどこにも行くことが出来ず、またハイウェイ上では恐ろしいほどのスピード感。とてもアメリカ的な場所だと思

いましたね。ヒューストンの気候にもびっくりです。春夏秋冬という季節感が当てはまらず、雨や嵐も日本のそれとは全く違い、夏の午後は毎日100度超という、とても激しい気候だと思います。最も驚きだったことは、見知らぬ人たちが笑顔で挨拶をしてくれることでした。前任地がニューヨークだったためか、お店やレストラン、オフィスの受付、道路の料金所などで笑顔に出会うことはあまりありませんでしたが、ここでは誰もが笑顔で嬉しくなりました。全体的にはとても快適な場所だと思うので、自分も笑顔でテキサスライフをエンジョイしたいと思います。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)

旅行とスポーツが好きです。始めると絶対に夢中になると思っていてゴルフをどうとう始めてしまいました。予想通り毎週ゴルフ場に通っています。あとはバスケットボールが好きで、年甲斐もなくヒューストンでも仲間と一緒に楽しんでいます。旅行はアメリカ50州すべてとアメリカの国立公園全てを巡ることを目標に、連休ごとにあちこち旅をしています。



事業継続計画（BCP）と災害対応管理

ジェットロ・ヒューストン事務所 ヘイズ樋口 奈津美

8月24日、Deloitte & Touche LLPから講師を招いて「事業継続計画(BCP)と災害対応管理」に関する講演が行われた。前半は、Bruce Daly氏から、「事業継続計画(BCP)と災害対応管理—東日本大震災から学ぶレッスン」について、そして、皆野川裕徳氏から日本語による補足解説をいただいた。後半は、正田平八郎氏から「リスク管理のためのリーダーシップとタレントマネジメント」についてお話いただいた。予測不能な環境に対応し得る企業をつくるため、BCPは企業が取り組むべき経営戦略の根幹である。Deloitteの具体的な方法論をご紹介いただきながら、想定外の事態に備えたBCPの構築と見直しの重要性について学んだ。

まず、Daly氏から、3月11日の東日本大震災から学んだことの振り返りと経営課題の見直し、そして、事業継続計画(BCM: Business Continuity Management)の概念についての2点お話があった。

1. 東日本大震災から学んだことの振り返りと経営課題の見直し

企業は、3.11以降、地震、津波、原子力発電所の事故、それに続いて発生した計画停電、放射能汚染、物流網寸断、風評被害など、連鎖して発生した想定外の事態への対応に追われた。そこから浮かび上がった課題として主に3点 — 「サプライチェーン」、「顧客・仲介業者への供給体制」、「ヒューマンキャピタル・人的資源」、が挙げられた。

なかでも、部品納入が滞るなどサプライチェーンの混乱はグローバル市場に深刻な影響を与えている。これに対する改善策として、他の地域あるいは海外の工場での代替生産、調達先の拡大、物流網の冗長化などが既に行われている。

2つ目の「顧客・仲介業者への供給体制」については、非常時に供給を維持し続けるための体制の見直しが重要であると説かれた。例えば、供給責任を果たした企業の例として、同業他社へ生産委託を行い顧客への供給を維持した製薬会社の事例が紹介された。また、被災したウォールマートの店舗は、店を24時間開放し顧客に無料で商品を渡すという通常では考えられない判断を下した。その慈善に富んだ行動により、地域から信頼と感謝を得て、企業のイメージ向上だけでなく結果的に売上向上へも繋がったという。他にも、業界あげての計画停電、節電対応が自動車メーカーをはじめ各業界に広がっており、供給責任を果たすための柔軟な動きが見られている。

3つ目の、「ヒューマンキャピタル・人的資源」については、災害時に人員が欠如しても業務を遂行できるようプランを策定する必要性が説かれた。決裁者が会社に来られない場合、あるいは亡くなってしまったという事態に備え、重要業務の遂行に必要な部門、担当者の選定が事前に必要になる。今回の震災で、意思決定者あるいは決裁者などが不在のために混乱が起き、自信の喪失がさまざまな企業で見られたという。非常時においても事業継続ができるよう、重要業務担当者の選定、在宅勤務をはじめとするフレキシブルな勤務体制、本社機能の移動など、想定外の事態へ備えた対策を事前に講じることが求められる。

ヒューストンにいる日系企業は、東日本大震災を機に見えた各企業の非常時への対応について、改善すべき課題とその優先順位を本部へ共有することが重要であると、Daly氏は参加者へ呼び掛けた。

2. BCM(Business Continuity Management)構築と見直しの必要性

BCMとは、持続的に事業を継続していくため、プランを見直し定着させていく総合的管理アプローチである。事業継続を脅かす事態に備えて、BCP(Business Continuity Plan)の策定、訓練・教育、テスト・見直し等を実施するマネジメントシステムを構築し、継続的に維持・改善する。BCMに対してBCPとは、事業継続を脅かす事態が発生した場合に、事業を継続するための対応策などを計画したアクションプランである。

では、事業継続を脅かすリスクとはどのようなものを指すのか。例えば、ハリケーンや地震など自然災害、情報漏えい、テロなどの人為的災害、伝染病などの健康を脅かすものや、停電、火災など技術的障害などがある。こうしたリスクに備えて、企業はBCPの策定とそれを実際に動かすためのBCMを実践することが求められる。緊急時に早い段階で状況に対処するほど、事業を持続させることができるという。例えば、BCPを策定していなかった企業の75%が、災害から3年以内に倒産する末路を迎えるそうだ。

企業は、事後対策でなんとか回復するという後手の体制から、リスクがあることを受け入れたうえで対応策を計画したプロアクティブな体制に進化していくことが求められる。BCMの成熟度が高い企業は、リスクを取ることを承知している。したがって、危機に対する感度は高く、迅速で的確な初動対応をすることができるのだ。



(左から)皆野川 裕徳氏、Bruce Daly氏、正田 平八郎氏

次に、正田氏から、「リスク管理のためのリーダーシップとタレントマネジメント」についてお話いただいた。主に、1. 危機管理は、経営トップが責任に正対し組織を率先すること、2. リーダー育成は経営目標達成とリスク管理に不可欠である、3. リーダー育成は取締役会、CEO、経営幹部の共同責任である、という3つのメッセージが伝えられた。困難な環境下で人々をまとめ問題解決に導いたリーダーたちが紹介され、リーダーの重要性が説かれた。次世代リーダー育成に取り組む際に参考となる「リーダー育成の見える化」という考え方が紹介された。これは、主要職務の要件を明確化し、どのような人材が必要で、どのようなリスク(離職など)があるかを分析・把握し、次のリーダーを配置するまでの具体的なプロセスを検証するためのメソッドである。どのような人材を育成すればよいか、いつまでに育成すべきか、といった具体的で明確な計画を立てることが必要である。また、リーダー育成に留意すべきこととして、仕事や人生に対する価値観が世代で異なることを把握することが必要だと説かれた。次世代リーダーの育成のためには、異なる世代が何を求めている、どのライフステージにあって、どのような価値観を持っているかを把握し(タレントマネジメントの整備)、育成に取り組むべきである。

最後に、複数施策の組合せ(70-20-10)によるリーダー育成モデルが紹介された。70%は職務遂行による育成、20%はコーチング、メンタリング、同僚とのネットワーク、残りの10%は研修プログラムなど、幅広い経験を積み重ねることが重要である。

以上、本セミナーを通して学んだ、想定外の事態に備えたBCP構築と見直しの概念、そしてリスク管理に欠かせないリーダー育成について、それぞれの企業の経営戦略に活かされたい。



ピーカンキッズ

活動報告

夏休みも終わりに近づいた8月19日金曜日、久々に「あそぼーかい」が開催されました。0歳から11歳までのたくさんのお子様が、三水会センターキッズルームに遊びにきてくれました。歌を歌ったり、紙芝居やエプロンシアターを見たり、みんなで輪になって「ドラえもん音頭」を踊って日本の盆踊り気分を味わったりしました。工作ではプラスチックカップで風鈴を作りました。思い思いの飾りをつけてできあがったオリジナル風鈴は、カラカラとなんともいえない可愛い音を立てていました。

次回もまた、楽しい遊びをたくさん用意してお待ちしています。ぜひぜひお越しください！

●今後の開催予定

「絵本読み聞かせの会」

10月8日(土) 10:00~3歳以上 10:30~3歳未満

11月5日(土) 10:00~3歳以上 10:30~3歳未満

「あそぼーかい」~小さいお子様向け~

10月21日(金) 10:30~

10月29日(土) 9:30~

11月19日(土) 9:30~

※変更がある場合もございます。

三水会センターポスターやヒューストンナビでご確認下さい。

スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは下記アドレスまでご連絡下さい。お待ちしております！！

あそぼーかい mama_asobokai@yahoo.co.jp 読み聞かせの会 houstonyomikikase@yahoo.co.jp



お知らせ

2月26日に商工会婦人部委員会が主催致しました古本市の収益金を使い、この度たくさんのお子様を新規購入致しました。この場をお借りして古本市にご協力頂いた皆さまにお礼申し上げます。購入しました本は、三水会センター児童本の棚にございますので、ぜひご覧ください。



駐妻のヒューストン日記

第84回 鈴鹿 美香 さん

我が家の駐在期間は3年…前任者もそうだったし、会社からもそのぐらいでと言われ、子供達にも周りにもそう触れ回っていた。それから早3年、着任後家族が渡米する前から「もう日本に帰りたい」と言っていた主人の努力とアピールの甲斐あってか、この夏の帰任は免れ、もう暫くの残留が決定したこと、この場をお借りしてご報告させて頂きたい。

3年という短い期間を想定していた為、我が家は初めから何でも全速力でやってきた。

日本で野球チームに入っていた長男の為に、主人は着任早々仕事を覚えるより先に米国少年野球事情を調査、入団チームの検討に入った。そのお陰で長男は補習校より先に野球デビューを果たした。ヒューストンを本拠地とする各プロスポーツチームの観戦も初めの1年で済ませた。

そして旅行。まとまった休みがあるごとに確実に旅行に出、カンクン・コスタリカ・ナイアガラ・アラスカ…国内外を問わず、色々な所に行った。旅行の回数では5年駐在している人にも負けないと自負している。

帰国後子供たちの英語力は急速に低下すると聞きつけ、それは大変！とこの冬母子で英検旅行もして来た。

そんな中、ちょっと特殊な旅となったクルーズ旅行について特記したいと思う。

主人の会社は船会社(客船ではありませんが)。一度は乗っておかなくてとは申し込んだ。その数ヶ月前に知人が乗船し、情報を得られたということも大きかった。時期は年越しを含む年末・年始の一週間。ガルベ斯顿から出航するため、荷物も車でたくさん運べるし、前後の宿泊も不要でとても楽なのです。



何が特殊だったかという、ふと気づけば知り合いの日本人家族が6家庭同クルーズに参加したこと。決して誘いあつたわけではない。前述の知人のロコミの影響と、駐在員の休みが取れる時期が重なったというだけ。

子供達は大喜び。寄港地では家族だけでも楽しめるが、親にとって至福の時間の船上も、兄弟だけでは物足りない子供達。船上キッズプログラムを毛嫌いする我が子達に関しては尚更で、至福のひとつが子供の相手に費やされる恐れがあった。

それが、たくさんのお友達がいる！幸い同年代の男子が多かった。船内は限られたスペースとはいえそれなりの広さで、親の目なしで自由行動できるとなれば親元にいるわけがない。朝食を済ませるとディスコ集合(日中ディスコは使われ

ていなくて、彼らの憩いの場となっていた)、时期的に寒くて船上プールは楽しめなかったものの、バスケットやパターゴルフなど船上・船内を飛び回り、戻ってくるのは席と時間が決められている夕食の時だけ。お陰で幼子のいない私達夫婦は、まるで新婚旅行のように2人きりで船内をフラフラ、兄弟喧嘩に悩まされることもなかった。主人がお昼寝タイムの夕方には、クルーズ主催のティーパーティに奥様方と参加、おしゃべりに花を咲かせた。最後の寄港地コズメルでは、皆で申し合わせて同じビーチに行った。子供は子供同士でプール・海で遊びまくり、親はビーチで大宴会。親子それぞれ満喫したクルーズ旅行となった。

参加した子供達は声を揃えて「またクルーズに乗りたーい」と言う。でも彼らの中にはもちろん友だちと一緒に遊ぶという頭が…。

はからずも手に入れたもう暫くの駐在、最後まで全力で過ごしていきたいと思う。ここでしかできない経験やこのクルーズに匹敵する思い出を、更にさらに作るために。

Houston Ballet

(Gold Castle, Inc. 米元 錦城)

去る4月21日に当地のHouston Balletが中心となり日本の地震津波募金活動としてDancing for Hopeというコンサートが開かれました。この中心人物であるSoloist楠崎なおさんに公演・練習の合間を縫ってインタビューをさせていただきましたのでその様子をレポートします。

Q 先日のDancing for Hopeお疲れさまでした。大成功でしたね。

A ありがとうございます。今回のイベントはDirectorのStanton Welch以下カンパニーの全員がお手伝いしたいと申し出て下さり本当に助かりました。でも公演時間も練習時間も限られていましたので出演者は私が絞らせていただきました。

Q 今回日本人が大勢出ておられましたが、Houston Balletにどうしてこんなに日本人ダンサーがいるのでしょうか。

A ダンサーを選ぶのはDirectorの仕事ですので、Welchさんが日本人の仕事ぶりを高く評価しているということですね。今回の公演も彼の協力がなければ実現しなかったと思いますし、また、出演して下さった方々もカンパニーのトップのダンサー達(principal)が多く、これもWelchさんの後押しがなければあり得なかったと思います。また彼は日本にも行ったことがあり日本が好きですね。日本公演も将来あり得るかもしれませんね。今回のイベントの発端や準備の様子はHouston Balletのブログに書いていますので読んでください。(http://houstonballet.wordpress.com/)

Q 今、日本人ダンサーは何人おられるのでしょうか。

A カンパニーに所属しているダンサーは5人で、ほかに研修生(trainee)といわれる人たちが3人います。Houston Balletは全米でもトップクラスのカンパニーですので、研修生になるにもかなり厳しいオーディションを通過する必要がありますが大変です。今年は12人採用となり1年間トレーニングを受けました。研修が終了した時点で皆Houston Balletや他のカンパニーのオーディションを受け専属ダンサーになっていくのですが、ここでもさらに厳しい競争があります。

Q ところでいわゆるperforming artsをやっている人たちは普通夏はお休みですよね。Houston Balletはどうなっていますか。

A うちのカンパニーは全米で一番シーズンが長く年間で44週間です。今年は6月19日が最後になります。

Q そうなんですか。では長く仕事をさせられて損してるんですね。(笑)

A いいえ、逆に、44週間お給料をもらえるからありがたいです(笑)。つまりダンサーの給料は年間いくらということではなく、仕事をしている間だけ週給でもらえます。

Q なるほど、では夏の2ヶ月間くらい給料がないわけですね。シーズン中にもらった給料を全部使わず貯金しておかないといけませんね。(笑)

A この点ヨーロッパではちょっと仕組みが違って、夏は2カ月休みであったとしてもその間普通にお給料が出ます。

Q そうですか、お国柄が出るということですね。ところでHouston Balletのお給料ってどういうレベルですか？

A 私たちはAmerican Guild of Musical Artistsという組合に入っていますので、大きなカンパニーに勤めていれば同じ給料です。たとえばBoston, San Franciscoなどですね。ヒューストンは他の大都市と比べて物価が安いので同じ給料でも暮らしやすいです。そういうこともあってかHoustonのダンサーのレベルは高いですよ。(笑)

Q ところで、我々がいるこの建物は最近できたばかりですね。すこしご説明いただけますか。

A ここはCenter for Danceという建物で今年4月にオープンしました。総工費約4700万ドルをかけて建設されましたがその大半は個人・企業・団体による寄付金です。ここはダンサーの練習場としてばかりでなく、地域の生徒を集めての教育プログラムに使ったり、カンパニーの管理部門に使ったりもします。この建物はWortham Theater CenterとSkywalkで繋がっていて簡単に往来できるよう設計されています。去年大きな募金キャンペーンを行いましたので寄付をして下さった方も多いと思います。今でも寄付を受け付けていますのでHouston Balletファンの皆様ぜひお願いします。5万ドル以上ご寄付いただけますと個人や会社のお名前をロビーに永久的に表示することになっています。



大口寄付をされた方々の名前がロビーに

Q 秋から始まる新シーズンの見どころなど簡単にご紹介いただけますか。

A 例年のようにクラシックからコンテンポラリーまでいろいろバラエティーをそろえてあり、それぞれお楽しみいただけますが、秋のレパートリーからのおすすめはジゼル(Giselle)です。ロマンチックバレエの代表作で、個人的にも一番好きなバレエです。

第1幕、踊りの好きな心臓の弱い村娘、ジゼルはアルブレヒトと付き合っています。実は、彼は貴族で婚約者もいるのです。ジゼルは目の前で彼の正体を知り、ショックで死んでしまいます。

第2幕、森の沼のほとりの墓場に結婚前に亡くなった女達の精霊(ウィリー)が集まります。そして森に迷い込んできた男達を死ぬまで踊らせるのです。墓場に現れたアルブレヒトも死に追いやられそうになりますが、ジゼルは必死に彼を守ります。そのうちに朝の鐘が鳴り、ウィリー達が墓場に戻っていくと、ジゼルはアルブレヒトに最後の別れを告げて消えていきます。これは必見です！

冬は、定番のくるみ割り人形、春にはロミオとジュリエットなど家族みんなで楽しめるバレエがあります。来シーズンもHouston Balletをよろしく願います。

*今、Houston Balletに所属する日本人ダンサーは楠崎さんのほか、飯島未さん、竹田仁美さん、竹田恵実さん、吉山シャール・ルイさんです。



Center for Dance
Dancer(s): Joseph Walsh & Artists of Houston Ballet in class
Photograph: Amitava Sarkar



Nao Kusuzaki Ballet: Punctilious
Choreographer: Stanton Welch
Photograph: Amitava Sarkar



Travel in the U.S.A.!

アメリカの秋の風物詩 農業イベント

石井 光 (JTB USA,INC.ヒューストン支店)

アメリカでは、毎月、いや毎週何らかのお祭りやイベントがある。その催しの数々は、地域ごとにとっても個性豊かで、また季節によっても様々だ。そして、そのイベントは、時に旅の一番の思い出になる。昨年8月に旅先のコロラドでたまたまロデオの大会を見て以来、旅行に行く度、その土地ならではのイベントに繰り出し、アメリカならではの体験を楽しんでいる。特に、秋には作物の収穫を祝う農業イベントが数多くある。私が昨年参加した、アメリカならではの風景を2つご紹介したい。

一つは、NYCから100マイルほど北に位置するSaugertiesという町で毎年9月下旬に開かれるHudson Valley Garlic Festival。地元産のガーリックが主役の恒例のイベントで、この日は小さな田舎町が大渋滞するほど、何万人ものガーリック好きが押し寄せる。歌やダンスのパフォーマンスあり、ガーリックの料理教室あり、そして皆のお目当てはずらりと並んだ200以上ものお店。食べ物の屋台ではガーリック・ホットドッグ、ガーリック・シュリンプ、ガーリック・ノート(ガーリックオイルをたっぷりつけた丸パン)、そしてガーリック・アイスまで、様々なガーリック料理が楽しめた。ニューヨーク州を始め、全米の農家が採りたてのガーリックや野菜を販売している場所でもある。この日会場で販売されていたガーリックは、なんと80種類以上！大小様々、それぞれに風味や香りの強さも違うとのこと。包装紙には生産者の名前や住所が印刷されていて、地産地消の重要性を実感。ガーリック・ジャム、ガーリック・ピネガー、ガーリック・ナッツなど、近所のスーパーではあまり見かけないユニークな手作り食品も試食できた。

因みに、ガーリック生産量は、世界的には中国がダントツの1位で、インド、韓国、エジプト、ロシアに次いでアメリカは第6位の生産国。そのアメリカでは、カリフォルニアが主な産地であるが、テキサスやルイジアナでも生産されているようだ。農家の皆さんの顔を思い出しながら、これからも近所のスーパーマーケットでも地元産のガーリックを探してみたいと思う。



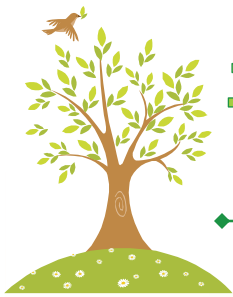
そしてもう一つは、ニュージャージー州南東のDouble Trouble Villageという村で見学したクランベリーの収穫風景。ここでは、10月の3日間に限り、クランベリーの収穫風景を公開している。ニュージャージー州は、ウィスコンシン、マサチューセッツ州に次ぐ全米第3位のクランベリー生産地。北アメリカで昔からネイティブ・アメリカンが食用にしてきたこの果物は、主としてお菓子やジャム、ジュースなどに加工されるが、なかでも甘いクランベリーソースは感謝祭のターキー料理に欠かせない食材だ。この時期になるとコマーシャルや情報番組でクランベリーの海におじさん達が浸かっているのをよく見かけるが、ここに行って、その映像の謎が解けた。



あのクランベリーおじさんたちは、Wet Harvestと呼ばれるユニークな収穫方法の真っ最中だったのだ。まず、Cranberry Bog(クランベリーの畑)に水を張り、高さ10cmほどのクランベリーの木をまるごと水没させる。その後、耕運機のような機械でツルから実をはずし、水面に浮かんだ実を少しずつ囲い込むようにして集めていき、最後に機械で一網打尽に吸い取る。広大な湿原と化した畑一面にクランベリーの赤い実がキラキラと広がっている様は壮観だった。この日だけで、約65,000ポンド、数にして約2,000万個のクランベリー粒が収穫されたとのことだ。このエリアでは1860年代からクランベリーの生産が始まり、当初はDry Harvest(畑に水を張らず、ツルから実を手で摘み取っていく収穫方法)だったが、収穫にかかる日数と人手を減らすために現在のようなWet Harvestに変わった。何十年も同じ仕事に携わっている生産者の姿を見ながら、この地でこれからもずっとこの収穫風景が見られることを願わずにはいられなかった。

日本でも秋には様々な収穫の祭りや果物狩りがあるようにアメリカの様々な場所でも秋の風物詩がある。今年も旅先や地元テキサスで、その地ならではの秋の風景や農業イベントをまた探しに行きたいと思う。





エコ先進国日本から ヒューストンへのメッセージ

在ヒューストン日本国総領事館 佐藤 暁子



挨拶をされる渡部隆彦総領事代理とパネラーの皆さん

7月27日、在ヒューストン日本国総領事館は、ヒューストン市内のUnited Way Centerに於いて“Land of the Rising [Green] Sun, Japan’s Recycling Initiative”と題したパネルディスカッションを開催しました。これは、3R推進マイスター*／環境カウンセラーとして日本で活動している佐藤エイ子さんの訪米を受け、Keep Houston Beautiful、The Japan-America Initiative (JAI)、Toshiba International Corporation (TIC)の協力を得て実現したものです。

パネラーは、佐藤さんの他、ヒューストン市ゴミ処理課課長Harry Hayesさん、リサイクル委託業者Greenstar RecyclingのTeri Leagueさん、ヒューストン大学環境維持コーディネーターLeah Wolfthalさん、そしてTIC環境衛生・安全管理担当Shane Danielsさんの5名が参加しました。

はじめに渡部隆彦総領事代理が、「資源の少ない日本では、いかにゴミを減らし資源を有効に使うかが重要視され、地球規模の環境問題解決に積極的に取り組んでいます。」と挨拶し、各パネラーの紹介、協力団体への御礼が述べられました。



佐藤エイ子さんと通訳のジェラミー君

冒頭、佐藤さんは、「リサイクルはゴミを減らすことにはならない。今大切なことは、ゴミを出さない・作らないことである。例えば、買い物の時は再利用できるバッグを持参するなど、誰でもできるレベルで皆が協力し合うことが地球環境を守る」と訴えました。

続くHayesさんは、過去数年でヒューストン市がリサイクル率200%増加という進歩を遂げた実績と、落ち葉や枝などの庭から出るゴミの処理など現在の問題点について発表しました。

Leagueさんは、シングルストリームリサイクル(すべての資源ゴミを一つの容器に入れて回収する方法)について説明しました。これは、日本での個人レベルでの徹底的なゴミ分別とは反対の方法ですが、分別をより容易にすることでヒューストン市民のリサイクルへの参加率をあげることができたと分析しました。

次に発表したWolfthalさんは、ヒューストン大学での、リサイクルに関する啓発活動と、“環境にやさしい生活”の重要性を具体化するキャンペーンに焦点を合わせ、会場にはその具体例として、Wolfthalさんの指導で学生が作ったリサイクル品だけを使用した芸術作品が展示されました。

最後はDanielsさんによる産業廃棄物の量を抑えるためのTICの努力と工夫についての説明でした。TICでのリサイクル率95%は、アメリカ国内では驚くべき数字であるのに、日本では100%を達成しているのでまだ改善の余地があると話す、会場から感嘆の声が上がるひとこまもありました。

発表が全て終わったあと、リサイクルと環境保護に関して用意された幾つかの質問に各パネラーが答え、ゴミ問題や環境保護について皆に関心をもってもらうためには、講演や学校での教育を繰り返す行いが最も重要であるなど、さらに突っ込んだ議論が展開されました。

平日の午後3時半からという時間帯にもかかわらず来場して下さった30余名の参加者は、さすがにゴミ・環境問題に関心の高い方ばかりで、予定時間を30分超過して会が終了した後も、さらにパネラー同士や参加者とパネラーとの話し合いが30分ほど続きました。

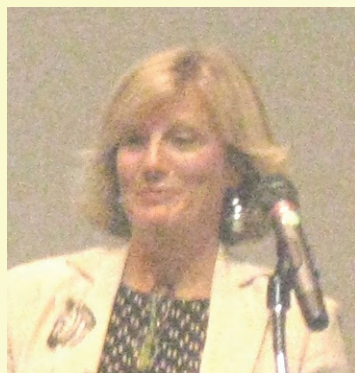
こういった地味なテーマは、日常生活に直結していて重要な問題であるにもかかわらず、残念ながらあまり人々の関心と呼ぶものではありません。しかし、地球環境を維持していくためには、もっと積極的に考えるべきことではないでしょうか。今回は、環境型社会をめざす日本から、ささやかながらヒューストンのゴミ・環境問題解決へのヒントとなるようなメッセージを送ることができた有意義なイベントとなったと思います。

* 3R推進マイスター:

改正容器包装リサイクル法において、レジ袋等容器包装廃棄物の排出抑制についての消費者の意識啓発等を図るため、環境省では平成19(2007)年から「3R推進マイスター制度」を実施している。現在日本では、環境省からの委嘱で国推薦、地方自治体等推薦の合わせて91名の方が講演等の活動を通して消費者に対する啓発、指導、助言をしている。



Harry Hayesさん



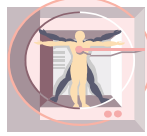
Teri Leagueさん



Leah Wolfthalさん



Shane Danielsさん



編集委員会では、医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターの方々にリレー方式で次々にご登場頂き、読者の皆様の健康に関する話、メディカルセンターの様子など連載記事として掲載しています。前回の安藤美樹先生から小児内科ご専門の柳沢 龍先生にバトンが移りました。

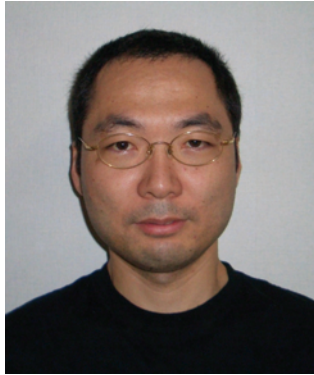
第84回

樹状細胞ワクチン療法とは

(ベイラー医科大学 Center for Cell and Gene Therapy)

柳沢 龍

今年の4月から家族3人、こちらテキサス州ヒューストンにてお世話になっております。現在メディカルセンターにあるベイラー医科大学のCenter for Cell and Gene Therapyにて、がんに対する免疫療法の研究を日々行っています。免疫療法は近年、手術、化学療法、放射線療法につぐ第4の治療として注目され世界中で研究や治療が進められている分野です。諸外国と比べると残念ながら日本国内では、まだ大きく立ち遅れている分野ですが、私は日本にいる時に信州大学において樹状細胞ワクチン療法に携わる機会がありましたので、今回はこの話題とさせていただきます。



樹状細胞とは

樹状細胞は私たちの体内で異物(病原)が生じた際にこれを食べ(食食し)、消化することでそれがどういったものかを認識し、さらに実際の免疫反応を担うリンパ球に受け渡しを行います。受け渡しを受けたリンパ球の方は、この目印を頼りに実際の実働部隊として働き異物を攻撃し除去にあたります。異物となる対象物は外から侵入したウイルスであったり、またはがん細胞であったりもします。このように樹状細胞とは私たち体内の免疫反応においては、司令塔のような役割を担っていると言えます。

樹状細胞ワクチン療法とは

この樹状細胞の特長をがん免疫療法に応用したものです。一般的な治療方法としては、まず患者さんから成分採血を行い、樹状細胞のもととなる単球と呼ばれる白血球の成分をたくさん集めてきます。それらを1週間にわたって必要な栄養分やサイトカインを与えながら培養します。こうすることで患者さんの体の外で樹状細胞をつくりあげます。この時に重要なのは、対象となる患者さんのがんの目印(抗原)をこの樹状細胞に与えます。そうすることで、がんを攻撃できる司令塔として作り替えることができます。できあがった樹状細胞は必要量毎に分けて凍結しておいて、その度に溶かして患者さんに注射します。すると患者さんの体内ではこの樹状細胞からリンパ球に、がんの目印の受け渡しがなされ、がんに対する攻撃が期待されるというものです。

樹状細胞ワクチン療法に期待されること

標準療法と呼ばれる、手術、化学療法、放射線療法などは実際には患者さんの体にとっては大きな負担となります。すでに病気で弱った体に治療の副作用がさらに重くのしかかります。治療を途中で中断せざるを得ないことも少なくありません。これに対し樹状細胞ワクチン療法では用いている細胞はもともと自分のものですので、体に対する副作用がかなり少なくなります。また化学療法や放射線療法はがん細胞のみならず正常の体の細胞にも影響するため様々な副作用を及ぼしますが、樹状細胞ワクチン療法は基本的にはがん細胞のみを標的としているためこうした意味でも副作用の軽減が期待されます。実際の治療方法も1~数週間毎に予防接種のように注射するだけとなります。中には免疫反応によって注射した部位の皮膚が赤く腫れたり熱が出たりする場合がありますが、多くの患者さんが通院で治療を受けられています。使用できるがんの目印の方も研究はすすみ、種類も徐々に増えてきました。この目印を病気毎に使い分けたり、場合によっては複数の目印を一緒に用いたり、患者さんの状態や病気に合わせて治療することが可能となってきました。こうして標準療法に抵抗性のがんに対しても、違った攻撃方法を加えることで新たな治療効果が期待されています。

今後期待されること

現在、日本人の2人に1人は一生の間がんに経験する時代です。日本国内でも樹状細胞ワクチン療法の臨床試験が始まっており、実際の治療効果の判定が待たれております。しかし、まだそのような状況なので、一部の先端医療を除いて未だ保険医療としては認められておりません。従ってもし治療を受けたい場合には高額な医療費を自費で支払わねばなりません。また日本国内では標準療法に対する保険診療と樹状細胞ワクチン療法に対する自費診療との混合診療は認められていないため、同じ病院で両方の治療を受けることはできません。こうした状況のため実際にはまだ日本では受けにくい治療ではありますが、現時点で標準治療のみでは半数の患者さんしか治すことはできません。それ故、樹状細胞ワクチン療法をはじめとする免疫療法に対する期待は非常に大きなものとなっております。実際に日本国内のみならず、こちら米国ではさらに最新の免疫療法が患者さんに提供されるとともに、次なる治療に向けた研究が日々行われております。少しでも近い将来、多くの患者さんに対して苦痛を伴わず、より効果的な治療を提供できる日がくることが望まれます。

以上、樹状細胞ワクチン療法に関して大まかに記載させていただきました。私もこの異国の地、アメリカでそんな日がくることを夢みながら日々研究に励みたいと思います。

今回は、小児内科(血液腫瘍)ご専門の西尾信博先生です。西尾先生は私と同じ小児・血液腫瘍をご専門とされており、日本国内にいた時から学会などではご活躍ぶりを度々拝見しておりました。この8月からは縁あって同じ研究施設で一緒に働かせていただいております。子供の相手が上手でとても頼りになる先生です。

ワン!ダフル ヒューストン

Vol.6 ペットのための快適バカンス

川原志津香 (家庭犬しつけインストラクター)

ペットと一緒に生活していると、ペットの存在が身近に感じられることが当たり前になって、身近にいない時にとでも寂しく感じられます。日頃の買物に出かけても、犬を連れて散歩している人を見かけると、自分の犬は家でどうしているだろうかと、ふと思ってしまうほどですから、犬を同伴せずに長期で旅行に出かける際には、後ろ髪を引かれながら出かけることになるものです。

前回の記事で、犬連れの旅行の楽しみ方についてお話しましたが、飛行機での移動がある場合や、慣れない土地へ旅行する場合には、犬を同伴しない方が飼主にも犬にもストレスが少ないということもあります。今回は、犬を旅行に連れて行かない場合に、どのような選択肢があるのかということについてお話してみたいと思います。

犬の世話を願う場所として、最も一般的なものは、かかりつけの動物病院やペットホテルです。

動物病院に預ける場合、病院内のケージの中で過ごし、1日に数回トイレに連れ出してもらえるところが多いようです。万が一体調を崩しても、かかりつけの獣医さんにすぐに対処してもらえるということで、体調が心配な場合や老犬の場合には安心といえます。

また、多くの方がペットホテルを利用します。ヒューストンで最も一般的な預け先といえるのは、「PetSmart」のようなチェーン展開をしているペットショップに付属するペットホテルでしょう。宿泊料は立地によって異なりますが、ある「PetSmart」の宿泊料は、スタンダードな個室で1泊27ドル、ドッグベッドやテレビ完備のスイートルームで1泊37ドル。ホテル滞在中に、他の犬たちとのプレイタイムや、スタッフとのプライベートなプレイタイムを追加するなど、オプションのサービスも用意されています。チェーン展開しているペットホテルは、アクセスの良さと良心的な価格というメリットをいかして顧客を獲得しています。

こうしたホテルの他にも、犬のためのリゾートホテルのようなペットホテルも存在します。「Houston Dog Ranch」や「Rover Oaks Pet Resort」は、飼主の留守中もできるだけ心地よく、楽しい時間を過ごしてほしいと切望する飼主に人気の施設で、犬の日中の預かり(デイケア)、ホテル、トリミング、しつけ教室を併設しています。「Rover Oaks Pet Resort」はヒューストンとケーティ2カ所の施設を持ち、普段からデイケアやしつけ教室に通っている犬たちの宿泊先としてリピーターも多く、特に「ラグジュアリー・スイート」と呼ばれるスイートルームは「狭いケージで寂しく留守番」という固定観念を覆す豪華振りで、また、「Houston Dog Ranch」は、全ての個室に付属の専用庭にドッグゲートで自由に出入りができる

快適さが大きな特徴。各部屋に設置されたモニターで宿泊ゲストの様子を把握できるシステム、敷地全体に蚊の忌避薬を散布するシステム(もちろん犬に害のないもの)があり、自分の犬を安心して預けたいと思う飼主たちの願いを実現する施設です。こちらのVIPルームもまた一見の価値があり、「ラブ・ラウンジ」、「ローン・スター」と名付けられた個室には、大きな革張りのソファ、上品な絨毯、飾り棚、壁掛けの液晶テレビ...どこかのお宅のリビングにお邪魔しているかと錯覚するばかりの部屋です。1泊68ドルというこのVIPルームのみを予約するリピーター客もいるのだそうです。「Rover Oaks」、「Houston Dog Ranch」、いずれも、オプションのサービスでプレイタイムやプールタイムなどを追加でき、快適な滞在になること、間違いなしです。

一方で、動物病院やペットホテルがいくら安心・快適でも、自宅から離ればストレスに感じてしまうというペットにとっては、自宅にペット・シッターに来てもらって世話をしてもらうという選択肢が最善ということもあると思います。ヒューストンで7年間、犬の散歩サービス(ドッグ・ウォーキング)と自宅での世話(ペット・シッティング)を行っている「City Tails Dog Walking & Pet Sitting」は、飼主と相談の上、1日2~4回程度自宅を訪問してくれます。ペットの食事や散歩、必要場合は薬をあげてもらいなどの特別なケアもお願いでき、要望があれば郵便ポストから郵便物を回収しておいたり、ゴミを出しておいたり、留守宅の細やかなサービスが受けられます。1回あたりの訪問は30分程度、20~25ドルの料金がかかります。鍵を預けることになるため、信用できるペット・シッターに出会えるかどうかのポイントになりますが、飼主の留守中も環境をあまり変えることなく、数日の留守番を過ごさせてあげられるので、怖がりのペット、年老いたペットにはお勧めです。

今回ご紹介した通り、ペットを同伴せずに旅行に出かける時には、できるだけ普段の生活から環境を変えないようにしてあげることもできますし、旅行に出かける飼主だけではなく、犬もリゾートに送り込んで楽しませてあげられることもできます。ヒューストンでのペットホテル事情は、東京でのペットホテル事情よりも、選択肢も多く、規模も違うと常々感じています。我が家は、飛行機を利用する長距離の旅行や、国外への旅行は犬たちを置いて出かけることにしていますが、今回は、犬たちにもリゾートを味わってもらおうかと計画中です。



「Houston Dog Ranch」の宿泊エリアはまるでひとつの街のよう...



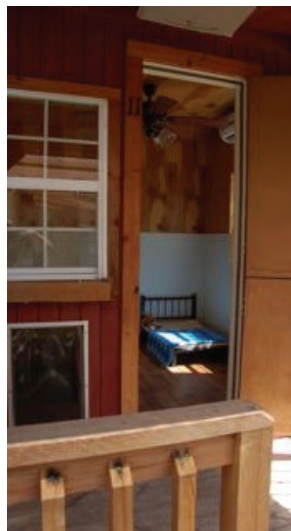
「Houston Dog Ranch」の骨の形をした犬用プール。夏場は大きなタープが日陰をつくる



「PetSmart」の個室。2頭同室で預けることも可能



「Rover Oaks」のラグジュアリー・スイート



「Houston Dog Ranch」のスタンダード・キャビン

レストラン紹介
新 食うすどん
KUSTON



Westheimerにあった、イタリアンレストランの「Simposio(シンポジオ)」。味もサービスも良かったのに、気がつくといつの間にか閉店していました。美味しかった記憶はあったものの、値段がちょっと高いこと、店自体の格調は高いのに普通のストリップモールにあって浮いた雰囲気、日常の食事にも、特別な日にも何となく利用しづらく、存在をいつの間にか忘れてしまっていました。味が良くても中途半端なコンセプトのレストランは、お客さんから忘れられてしまい存続が難しいんだなあ、と、将来のレストラン経営者として勉強させてもらいました。

そんなシンポジオの味に、嬉しいことにうちの近所で再会する事が出来ました。WestheimerのKirkwoodとDaily Ashfordの間に、「Sapori Ristorante Italiano」というレストランがオープンしていて、聞いてみると、元シンポジオのシェフ、北イタリア出身のアルベルトさんが始めたところだったのです。サービスで提供されるフォカッチャ(イタリアのパン)は自家製、パスタも全て手打ちでこだわりが感じられ、シンポジオ級の味がそのまま引き継がれています。使うパスタは生なので、「アルデンテ！」と連呼しなくて済むのも助かります。また、ジャッキーさんというサーバーの女性は、店の格式と値段から考えると、一段上の心地よいサービスをしてくれます。私は、メニューについて尋ねた時、材料だけをマニュアル的に羅列されたり、まるで食べた事のないような反応をされるとがっかりしてしまうのですが、彼女はソースの種類から触感まで丁寧に説明してくれ、私の好みを聞きお勧めまでしてくれました。彼女も他のちょっと良いイタリアンレストランを経ているとのことで納得。シェフもサービス精神の溢れた方で、私が初めて訪れた時も、まるで友人を迎えるように笑顔で手を振ってくれ、時間が許せばテーブルまで挨拶をしに来てくれたり、お見送りまでしてくれました。また、

Vol. 22

SAPORI RISTORANTE ITALIANO

- ◆住所：12225 Westheimer Rd., Houston, TX, 77077
- ◆電話：281-496-4941
- ◆営業時間：月～木11am-10pm, 金 11am-11pm
- ◆価格帯：昼\$15～、夜\$25～

完全オープンキッチンなので、キッチンを覗くのが好きな方には最適です。

美味しさはそのまま、コストパフォーマンスが格段にあがって、新しく生まれたこのレストラン。8月中旬現在、店の前とダイニングにはイタリアンレストランとは関係ないヤシの木の大きなオブジェが鎮座し、看板は以前のメキシカンレストランの名前の上から布製の簡易版がかけてあるだけ。ジャッキーさん曰く、行政からの看板の許可がまだ降りておらず、降り次第掛け替えるそうですが、まだまだ生まれたてといった雰囲気はご愛嬌。シェフやサーバーの方たちの心地よいサービスと、作れるものは全てお店で手作りという出来たての美味しいお料理は、普段使いのお店としてこれからもファンを増やしていくことでしょう。カジュアルなお店なので、お子さん連れでも大丈夫です。美味しいお料理で、幸せな時間を過ごして下さい。

(Ikuko Murakami)



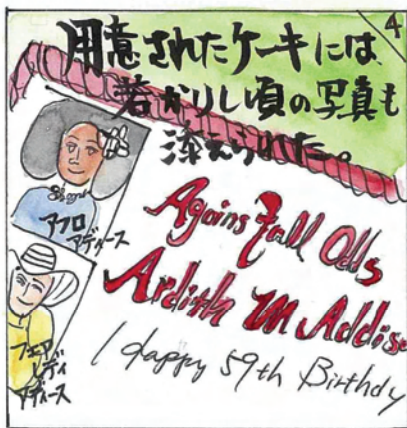
前菜: Mozzarella dell' Ortolano



パスタ:Paglia e fieno tre P.

ヒューズトン知っすん？物語

アデーヌ - ④



KUMIKO ©



(Metal, Rock & Pop)

The Cynthia Woods Mitchell Pavilion

Sep. 23, 7:30pm: Def Leppard
 Sep. 24, 7pm: Maroon 5 & Train
 Sep. 25, 7pm: Journey with Foreigner & Night Ranger
 Sep. 26, 7pm: 2011 HONDA CIVIC TOUR BLINK-182 & MY CHEMICAL ROMANCE
 Sep. 30, 8pm: Incubus
 Oct. 15, 6pm: Judas Priest
 Oct. 18, 7:30pm: Adele
 Oct. 28, 7:30pm: Hocus Pocus Pops

House of Blues Houston 888-402-5837

Sep. 17, 8pm: Foster The People
 Sep. 19, 8pm: LG Ones to Watch Presents Kaiser Chiefs
 Sep. 20, 8pm: Kip Winger in the Bronze Peacock
 Sep. 24, 8pm: Wuensryche
 Sep. 27, 8pm: Molotov
 Sep. 28, 7pm: Bring Me The Horizon plus Special Guests
 Sep. 30, 7:30pm: David Crowder
 Oct. 1, 7pm: The Script w/special guest Hot Chelle Rae
 Oct. 5, 7:30pm: Thrive
 Oct. 5, 8:30pm: Tyler Ward
 Oct. 6, 8pm: Buckethead
 Oct. 7, 9pm: The Ruby Revue Burlesque Show
 Oct. 7, 9pm: B.B. King
 Oct. 8, 9pm: Who's Bad
 Oct. 9, 6:30pm: LG Ones To Watch presents Never Shout Never
 Oct. 12, 8:30pm: Bela Fleck & The Flecktones "The Original Line-Up"
 Oct. 15, 9pm: Dark Star Orchestra - Continuing the grateful Dead Experience
 Oct. 16, 8pm: An Evening With Peter Frampton - Frampton Comes Alive 35 Tour
 Oct. 19, 9pm: Ben Receptor in the Bronze Peacock
 Oct. 21, 7:30pm: Jack's Mannequin
 Oct. 21, 8pm: Gaelic Storm in the Bronze Peacock
 Oct. 23, 8pm: Mix 96.5 Bosom Ball starring Colbie Caillat
 Oct. 24, 8pm: The Musical Box - The Exclusive, Authorized by Peter Gabriel, Re-Creation of Genesis' "The Lamb Lies Down on Broadway"
 Oct. 29, 8pm: CSS w/ special guest MEN

Verizon Wireless Theater 713-230-1600

Sep. 24, 8pm: Erasure
 Oct. 1, 8pm: Michael McDonald & Boz Scaggs
 Oct. 9, 8pm: Lindsey Buckingham
 Oct. 10, 8pm: Death Cab for Cutie
 Oct. 15, 8pm: Straight No Chaser
 Oct. 25, 8pm: Dream Theater

(Soul, R&B & Jazz)

Miller Outdoor Theatre

Oct. 14, 7:30pm: Michael Franks with Ethan Bortnick

Shepherd School of Music, Rice University

Oct. 11, 8pm: Jerusalem String Quartet

Jones Hall 713-224-7575

Sep. 18, 2:30pm: Brahms' Violin Concerto
 Sep. 22 & 24, 8pm: Richard Strauss' A Hero's Life
 Sep. 25, 2:30pm: Richard Strauss' A Hero's Life
 Sep. 30 & Oct. 1, 8pm: Watts Plays Beethoven Emperor
 Oct. 2, 2:30pm: Watts Plays Beethoven Emperor
 Oct. 14, 8pm: Idina Menzel
 Oct. 15, 10am & 11:30am: Once Upon a Dream
 8pm: Idina Menzel
 Oct. 16, 7:30pm: Idina Menzel
 Oct. 20 & 22, 8pm: Ravel's Daphnis and Chloe
 Oct. 23, 2:30pm: Ravel's Daphnis and Chloe

(Latin)

Toyota Center 713-758-7200

Oct. 1, 8pm: Vincente Fernandez/ Edith Marquez
 Oct. 12, 7pm: Enrique Iglesias

Miller Outdoor Theatre

Oct. 6-8, 7pm: 32nd Annual Festival Chicano
 Oct. 15, 8pm: Dia de la Hispanidad featuring Asocio Cultural I'Aljama
 Oct. 29, 7:30pm: Lunada 2011

(Rap & Hip Hop)

Toyota Center 713-758-7200

Oct. 26, TBD: "The Throne: JAY-Z and Kanye West"

(Country)

Verizon Wireless Theater 713-230-1600

Oct. 11, 8pm: Dolly Parton



劇場

Opera in the Heights (1703 Heights Blvd) 713-861-3503 www.operaintheheights.org

*Daughter of the Regiment (Sep.22, 23, 24, 29, 30, Oct.1, 2) Donizettiの「笑える」オペラ、フランス語で歌われますが英語字幕があります。製作には日本人助監督の戸田光彦氏が参加、オーケストラにも日本人音楽家が参加予定。

Grace Theater (2710 W. Alabama) 713-526-2721 www.adplayers.org

*Faces (~Oct. 16)

Alley Theatre (615 Texas) 713-220-5700 www.alleytheatre.org

*Ether Dome (~Oct. 9)

Theatre Suburbia (4106 Way Out West Dr.) 713-682-3525 www.theatresuburbia.org

*Texas Romance (Sept. 16~Oct. 15)

Hobby Center (800 Bagby) 713-558-8887 www.tuts.com

*Vote! A New Musical (Sep.16~17)

*Guys and Dolls (Sept. 27 Oct. 9)



美術等

◆The Museum of Fine Arts Houston

(713-639-7300, www.mfah.org 木曜は入場無料)

◆Audrey Jones Beck Building

*Helmut Newton: White Women, Sleepless Nights, Big Nudes -Sep.25 2011

*Second Nature: Contemporary landscapes from the MFAH Collection - Sep.27, 2011

*The Spirit of Modernism -Jan.29 2012

◆Caroline Weiss Law Building

*Simpson Kalisher: The Alienated Photographer - Sep.18

◆Glassell School of Art

**Working in the Abstract : Rethinking the Literal - Nov. 28 2011

◆Contemporary Art; Museum Houston

(5216 Montrose Blvd, 713-284-8250, www.camh.org 入場無料)

*Perspectives 174: Marc Swanson: The Second Story -Oct.9

*The Spectacular of Vernacular July 30 -Sep. 18

◆Houston Museum of Natural Science

(One Hermann Circle Drive, 713-639-4629, www.hmns.org)

*Discovering The Civil War -From Oct.14,2011

◆The Menil Collection

(1515 Sul Ross 713-525-9400, www.menil.org 入場無料 Open: Wed-Sun 11:00am-7:00pm)

*The Whole World Was Watching: Civil Rights-Era Photographs from Edmund Carpenter and Adelaide de Menil -Sep.25,2011

*Walter De Maria : Trilogies - Jan.8 2012

*Seeing Stars: Visionary Drawing from the Collection from Sep.23 -Jan 15 2012



スポーツ

MLB/Houston Astros; @ Minute Made Park

(http://www.houston.astros.mlb.com/)

Sep.22(Thu) 7:05pm Colorado Rockies

Sep.23(Fri) 7:05pm Colorado Rockies

Sep.24(Sat) 6:05pm Colorado Rockies

Sep.25(Sun) 1:05pm Colorado Rockies

Sep.26(Mon) 7:05pm St Louis Cardinals

Sep.27(Tue) 7:05pm St Louis Cardinals

Sep.28(Wed) 7:05pm St Louis Cardinal

MLB/Houston Dynamo @ Robertson Stadium

(http://www.houstondynamo.com/)

Sep.17(Sat) 7:30pm San Jose Earthquakes

Oct.1(Sat) 3:00pm Chicago Fire

NFL/Houston Texans @ Reliant Stadium

(http://www.houstontexans.com/)

Oct.2(Sun) 12:00pm Pittsburgh Steelers

Oct.9(Sun) 12:00pm Oakland Raiders

その他

Festivals at Traders Village (7979 N. Eldridge Rd). Traders Village is the largest, most visited flea marketplace. 9/18-19: 12th Annual Village Bluegrass Festival, 9/25 7th Annual Gospel Music Jubilee, 10/2 38th Houston Area Woodcarvers Show & Competition, 10/3 10th Annual Village Art Car Show, Each Admission is free, parking is just \$

http://www.tradersvillage.com/en/houston/festivals

Sep.17,18 10th Houston Hot Sauce Festival

(Stafford center10505 Cash rd. 77477)Admission always includes the sampling of fiery food products...Admission \$5 and Children 12 and under Free (no pets allowed)no extra fees or ticket purchases required for tasting the products!

http://www.houstonhotsauce.com/

September 24-25 LONGHORN ROD RUN

@Spring TX. Anique Cars & Historic Attractions combine for the Longhorn Rod Run in Old Town Spring.

http://www.oldtownspring.com/longhorn_rodrun.htm

Sep.30-Oct 23: State fair of Texas

(Fair park in Dallas, TX) Yearly at Dallas' Fair Park since 1886, the State Fair has been the site for many historical and memorable moments - as well as lots of fun!Admission fees are various. www.bigtex.com

Oct. 6-9 Greek Festival @ Annunciation Greek

Orthodox Cathedral complex near downtown and the Museum District (3511 Yoakum Boulevard 77006) \$5.00 (adults). Children 12 and under admitted free. Pre-sale\$18.00 http://www.greekfestival.org/about.html

Oct 8-9 Katy Rice Harvest Festival @ Historic

downtown Katy. The annual Katy Rice Harvest Festival is two big days of excitement and family fun with two stages of continuous live entertainment, craft and food booths, carnival and more.

http://riceharvestfestival.org/

October 8-11/27 Texas Renaissance Festival in

Plantersville テキサスにいながらルネッサンス時代にタイムトリップしてみませんか?詳しくは http://www.texrenfest.com/home.html

Oct. 14-15 Cajun Catfish Festival @ Downtown

Coroe, http://www.conroecajuncatfishfestival.com/

Oct. 14 -16 Italian Festival @University of St.

Thomas, http://www.houstonitalianfestival.com/

Oct. 15 -16 Turkish Festival @Jones Plaza

(downtown), http://www.turkishfesthouston.com/

編集後記

ナノサイエンスを代表する炭素系構造であるカーボンナノチューブは近未来の送電線や宇宙エレベーターとなる可能性がある。ナノテクノロジーの発祥点はヒューストン。日米の研究者が寮生活で寝起きを共にして切磋琢磨。ダイナミックな最先端研究分野で日米の研究者の未来は明るく可能性は大。

Houston Balletに日本人ダンサーが多い理由。秋の作物の収穫祭、ガーリックとクランベリー。クランベリーの海でおじさん達が浸っているコマージュは不思議な風景で、一見すると映画のセットかと思える映像。愛犬家が犬を同伴しない旅行を選択した場合のペットホテル。いずれもアメリカならではのアイデア。

ロマンティックバレエの代表作Giselleもこれからの季節、鑑賞に良いかもしれません。夏休みも終わり新学期が始まりました。2011年も折り返し点を過ぎていきます。今年の「計」を各家庭で見直してはいかがでしょうか。

1996年ノーベル化学賞は、ライス大学のロバート・カール、リチャード・スモーリーと英国サセックス大学のハロルド・クロトーに授与されました。

(中水 勝)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューストン日本商工会

発行責任者 : 上野 真吾

編集委員長 : 中水 勝

構成・編集 : 石橋 敦子

印刷 : Sel-Fast Printing Copies &

Laminating (713) 782-2000